

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	構造設計及び演習						
科目区分	専門科目	単位数	3 単位	開講時期	3 年前期		
必修・選択の別	選択必修科目(建築工学コース) 選択科目(建築・デザインコース)						
担当者	小野聡子・中山直樹						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物に作用する荷重の計算ができる。</li> <li>・想定した荷重に基づいて建物の応力を求めることができる。</li> <li>・求められた応力により、各部の断面設計を行うことができる。</li> <li>・構造計算書より断面の配筋図などを作成することができる。</li> </ul>						
日程と内容	第 1 回 : 導入講義 第 2 回 : 建物の概要説明・荷重計算 第 3 回 : 建物の概要説明・荷重計算 第 4 回 : スラブ・小梁・階段の設計 第 5 回 : スラブ・小梁・階段の設計 第 6 回 : 準備計算 - 1 第 7 回 : 準備計算 - 2 第 8 回 : 鉛直荷重時応力の計算 - 1 第 9 回 : 鉛直荷重時応力の計算 - 2 第 10 回 : 水平荷重時応力の計算 - 1 第 11 回 : 水平荷重時応力の計算 - 2 第 12 回 : 大梁・柱の設計 - 1 第 13 回 : 大梁・柱の設計 - 2 第 14 回 : 基礎の設計 第 15 回 : まとめ						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題						
	演習	100%		計		100%	
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物に作用する荷重の計算ができる。 → 達成した</li> <li>・想定した荷重に基づいて建物の応力を求めることができる。 → 達成した</li> <li>・求められた応力により、各部の断面設計を行うことができる。 → 達成した</li> <li>・構造計算書より断面の配筋図などを作成することができる。 → 達成した</li> </ul>						
反省点	本年度から、建物 1 棟を最初から最後まで自ら構造計算するようにした。つまり、今まで学んだ構造系科目の集大成となる演習とした。また、グループ(3 ~ 4 名)で同条件の建物を構造計算をさせた。皆、熱心に取り組んでいた。						
来年度の計画	本年度の内容から変更はしないが、グループ内の人数を減らして構造設計をさせる。						
授業評価アンケートに対するコメント	数名を除いて 8 ~ 10 の評価を得ていた。皆、熱心に取り組んでいたため、達成感があったことが理由であると考えている。						
履修登録者数	31 名	定期試験 受験者数	31 名	合格者数	31 名	合格率	100%